

子宮筋腫手術せず桂枝茯苓丸を服用

Q 四十六歳、会社員。数年前から生理不順とたちくらみが気になり婦人科を受診したところ、子宮筋腫（きんしゅ）との診断。貧血もあるので思い切つて手術をしたらどうかと言われていました。できれば手術はしたくないのですが漢方により薬はありますか。

が近づいている方の場合は子宮筋腫が良性の腫瘍であることと、閉経後縮小する場合が多いことから、鉄剤の服用や漢方治療などで経過をみてもよい。漢方薬は局所のうっ血をとり、ある程度筋腫を小さくすることができるともいえる。また立ちくらみやめまいなど随伴症状を軽減する効果がある。

A 質問者の手紙によれば子宮筋腫の大きさは鶏卵大で、貧血の目安である血中のヘモグロビンが1dl当たり11gとやや貧血気みである。時に子宮筋腫のために過多月経や不正出血が続く、貧血が進んだ後にやっと婦人科を訪れる方もある。そのような場合はすぐに輸血や手術が必要となる。

質問者のように貧血が軽度で、年齢的に閉経

最もよく使われる漢方薬は桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）である。煎じ薬の場合は別甲（べつこう）など「しこり」を軟らかくする効果があるとされる生薬を入れるとよい。立ちくらみやめまいには当帰芍薬散（とうきしゃくやくさん）、出血が多い場合は芍帰膠艾湯（きゅうきしょうがいとう）、月経痛が強い場合は折衝飲（せつしょういん）などがある。